

令和8年7月15日

教育相談室 午後2時45分

司会：岩本 記録：蛭原

令和8年度 朝霞市立朝霞第二中学校 第2回 学校運営協議会

1. 開会の言葉および諸連絡（本日の予定等）

2. 校長あいさつ

3. 任命書交付

4. 自己紹介

5. 議 事

- ・ 1学期の学校運営について
- ・ 本年度後半の行事予定について
- ・ 学校運営協議会における取組について
- ・ その他

6. その他（諸連絡）

7. 閉会の言葉

8. その他



令和8年度4月号

朝二中だより

朝霞市立朝霞第二中学校

令和8年4月8日発行

〒351-0007 朝霞市岡 199

電話(461)6540・fax(467)4742

チーム朝二を日本一の学校にしていくために……

校長 小石川 知治

令和8年度の開幕を迎えました。保護者の皆様には本校の教育活動に対するご理解、ご協力をいただいておりますことに、心より御礼を申し上げます。

さて、昨年度に引き続き、本校校長の大任を務めることとなりました小石川知治（こいしかわ ともはる）と申します。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

新入生194名の皆さん、ご入学おめでとうございます。2・3年生の皆さん、進級おめでとうございます。全校生徒727名、23学級で令和8年度をスタートしました。

今年度、本校では目指す学校像を、昨年度に引き続き、「**地域の中で 仲間とともに 家庭とともに 私らしく伸びる学校**」と掲げてまいります。

どうして「伸ばす学校」ではなく「伸びる学校」なのでしょう。子どもたちにとって「伸ばしてもらえる学校」では、どこか受け身に聞こえます。教職員だけでなく、クラスの仲間や先輩、後輩、ご家族や近隣・地域の方、また、タブレットを生かして、県外や遠く海外の方等、多くの方と主体的、積極的に声を交わし、力を借りつつ、自ら大きく「伸びて」ほしいと願っています。

そして、大切なのは「私らしく」です。黄梅桃李、それぞれの子どもたち一人一人に「私らしく伸びた」と言ってもらえるよう努力したいと思います。

本校の教職員は比較的若く、職員室全体にやる気と活気がみなぎっています。私は修了式で「まずは朝霞一、埼玉一の二中に」と話しましたが、6日に行った生徒指導委員会で担当から出されたレジュメには「**チーム朝二を日本一の学校にしていくために……**」と書かれており、生徒会長を中心に、生徒会本部や各専門委員会がどのように動き、学校づくり、学校変革の渦を作っていくか熱い議論が展開されました。

教職員も日々伸びて参ります。これからは社会総がかりが大切なキーワードです。保護者や地域の皆様のご協力、そして教職員とのチームワークなくして、子どもたちが伸びることはできません。今年度もどうか引き続き宜しくお願いいたします。

★離任した教職員～お世話になりました～★

滝田 真人	教 頭	朝霞第八小学校へ
福士 義泰	教 諭	朝霞第一中学校へ
鎌田 創	教 諭	朝霞第一中学校へ
小松 健	教 諭	蕨市立東中学校へ
竹内 太一	教 諭	入間市立向原中学校へ
中井 理恵	教 諭	朝霞第一中学校へ
塩崎 むつみ	教 諭	朝霞第十小学校へ
下西 佳子	教 諭	朝霞第四中学校へ
増田 紫史	教 諭	松戸市立新松戸南中学校へ
宮崎 真紀	教 諭	朝霞第一中学校へ
小日向 勝美	教 諭	任期満了
大熊 桃子	養護教諭	朝霞第三中学校へ
池田 有香	ICT 支援員	任期満了
石川 尚安	校務支援員	任期満了
ダスティン・ブラウワー	A L T	朝霞第三中学校へ

★着任した教職員～よろしくお願ひします～★

蛸原 康平	教 頭	朝霞市教育委員会から
岩本 雄剛	教 頭	朝霞第十小学校から
池津 誠	教 諭	蕨市立第一中学校から
丸山 徹	教 諭	朝霞第三中学校から
阿部 晃太	教 諭	新座市立第三中学校から
佐藤 史織	教 諭	草加市立青柳中学校から
高橋 智香	教 諭	新採用
城戸 美佳	教 諭	朝霞第三中学校から
阿部 愛	教 諭	新採用
佐野 隆	ICT 支援員	朝霞第一中学校から
加藤 芳宏	校務支援員	新採用
佐々木 真美枝	給食配膳員	朝霞第一小学校から
ニコラ・レブトン	A L T	朝霞第一中学校から

★令和8年度教職員★

校長 小石川 知治 教頭 蛸原 康平 岩本 雄剛
 教務主任 井上 恵子 養護教諭 尾崎 由実
 事務主幹 吉田 泰 事務主事 伊藤 紗希
 事務補助員 秋山 友希 校務支援員 加藤 芳宏
 スクールサポーター 笛田 由美 A L T ニコラ・レブトン
 さわやか相談員 高瀬 清美 図書館サポーター 橋本 直子
 サポート相談員 竹川 京子 奥野 麻衣
 給食配膳員 栗原 絵里子 佐々木 真美枝
 校 務 員 山田 行雄 菅原 茂子
 特別支援学級補助員 竹村 和美 秋山 華子 小川 里美
 スクールカウンセラー 小西 貴美子 県警スクールサポーター 酒井 和美 梶 和生

4月の行事予定

日	曜	行事予定
1	水	春季休業
2	木	
3	金	
4	土	
5	日	
6	月	
7	火	3年準備登校 ↓
8	水	始業式 第61回入学式
9	木	写真撮影
10	金	全校集会 2年、9・10・11組発育測定
11	土	
12	日	
13	月	給食開始 1・3年発育測定
14	火	清掃開始 生徒会リエンション 仮入部開始
15	水	仮時間割開始 木曜授業
16	木	金曜授業 各種委員会
17	金	避難訓練
18	土	
19	日	
20	月	保護者会 (15:30～)
21	火	生徒朝礼 PM:3年内科検診
22	水	前期時間割開始 3年全国学調(英語・質問紙) PM:2年内科検診
23	木	3年全国学調(国・数) PM:1年内科検診
24	金	部活動入部届・継続願締め切り
25	土	PTA 新旧常任委員会
26	日	
27	月	本入部 尿検査1次
28	火	離任式 尿検査1次 ふれあいデー
29	水	昭和の日
30	木	部活動保護者会 眼科検診(8:40～)

※今月の部活動終了時刻 17:15、完全下校 17:30

★5月の主な行事★ ※変更する場合があります
 1日(金)3年英語話すこと調査 1年心臓検診
 16日(土)体育祭(予備日①18日(月)、②21日(木))
 19日(火)振替休業日
 ※県学力学習状況調査 2年: 7日(木)
 3年: 8日(金)
 1年: 11日(月)

	1組	2組	3組	4組	5組	6組	7組	8組	副担任
1年	佐野彩太	阿部晃太	湯浅夏歌	池津 誠	小島 信	山下亜季子			川村亮太 阿部 愛 牧野智子
2年	山田大登	高澤由佳	向山大夢	上本麻衣	神崎創造	丸山 徹	島田莉奈	大島吾一	立川麻由子 北地英明 高橋智香
3年	山口瑤太	椎名 渉	中島桃果	磯部祥子	佐藤 新	五十嵐有輔			矢澤 忍 佐藤史織 城戸美佳 中上美紗子
9・10・11組	9組	小川 音	窪田宗一郎	10組	富ヶ原絵理	窪田宗一郎	11組	竹松明香 窪田宗一郎	

学校だよりは、5月号から「tetoru」で電子配信となります。ご登録をよろしくお願いいたします。



令和8年度5月号

朝二中だより

朝霞市立朝霞第二中学校

令和8年4月27日発行

〒351-0007 朝霞市岡 199

電話(461)6540・fax(467)4742

さあ日本一へ 足下からの挑戦

校長 小石川 知治

令和8年度、気づけば「日本一の学校」を合い言葉に本校の新たな1年が始まりました。「日本一」と聞くと、何か特別で大きな成果や華やかな姿が思い浮かびますが、日本一は日々の当たり前を丁寧に積み重ねたその先に生まれるものだと考えています。

先日の生徒会・各種委員会では新たな役員体制だけでなく、「自分たちの委員会で、どう日本一を具体化していくか」等が話し合われました。その中の一つ、保健委員会の様子を紹介したいと思います。

保健委員会では、職員室前の出欠黒板の記入を日常的な活動として行っています。各クラスの欠席・遅刻・早退等の人数を給食開始までに記入します。一見すると、さほど難しいことには見えないかもしれませんが、しかし、授業と授業の合間という限られた時間に毎日忘れずに記入し続けること、しかも23クラス全てが確実に記入することは決して簡単なことではありません。だからこそ、こうした「当たり前」を継続することには大きな価値があり、「日本一」への確実な一歩となります。

保健委員会は「目指せ100日！（出欠黒板連続記入） 責任をもって全員で健康な体をつくろう」という目標を掲げました。生徒が登校する日は年間およそ200日、連続100日はその半分に当たります。とても高い目標ですが、委員長の樋口さん、副委員長の中野さん、書記の工藤さん、中里さんは「こんな目標を立てられるのも、達成できるのも自分たちだけ」「任せてください」と力強くその覚悟を語ってくれました。

「日本一」という大きな目標の達成も足下の小さな実践からです。挨拶のできる生徒、時間を守る生徒、役割を果たせる生徒……、こうした「自分なりの目標や課題」を大切に、全力を挙げる生徒の集う学校こそ真の日本一の学校ではないでしょうか。

体育祭の月、5月。大きな行事だからこそ、表舞台の派手さだけでなく、準備や協力、ルールや支え合いといった足下が問われます。体育委員を中心に一人一人が「私こそが二中」と学校の看板を背負い、日本一の体育祭を創りあげてくれることを期待します。

第61回入学式

4月8日(水)、194名の新入生を迎えて、令和8年度第61回入学式が開催されました。新入生は緊張した面持ちでしたが、呼名に対してしっかりと返事をすることができました。新2・3年生は、式に臨む態度や大きな声での校歌紹介などにより、入学式に華を添えてくれました。

朝霞市長を始め、多くの来賓の方も参列し、あたたかな雰囲気の入學式となりました。

生徒会オリエンテーション

4月14日(火)5・6校時、新入生がこれからの二中での生活を不安なく、充実して過ごせるように、生徒会や部活動の部長が中心となってオリエンテーションが行われました。

生活のきまり、生徒会の組織・活動、部活動について紹介がありました。部活動は、4月23日(木)まで仮入部期間、27日(月)から本入部となります。30日(水)には、部活動保護者会も開催されます。今後も保護者の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

生徒会・委員会・部活動
とどれもわかりやすく、
ユーモアあふれる説明で
した！



避難訓練

本校では、子供たちの安心・安全を守るため、実際に災害が起きたときの実践的な態度を育成するために、定期的に避難訓練を実施しています。1回目を4月17日(金)に行いました。地震が発生したことを想定し、緊急地震速報の音源を用いて、グラウンドに避難しました。

教室から避難経路の確認や安全確保、集合・点呼等の訓練をしました。今後、水害や火災等を想定した訓練の実施を予定しています。ご家庭におかれましても、万が一の災害に備えて、親子で避難経路や連絡方法について、必ず確認をしておいてください。

第61回体育祭

令和8年度第61回体育祭を、5月16日(土)に実施する予定です。二中の伝統を受け継いだ、素晴らしい体育祭となるように、全校生徒一丸となって、しっかり練習や準備に取り組んでいます。

たくさんの保護者の皆様、地域の皆様に参観していただき、二中の良さを、これまで以上に知っていただけるよう頑張っています。

5月の主な行事予定

日	曜	主な行事予定	給食
1	金	3年話すことテスト・1年ALTリコーダー販売・PM心臓検診	○
2	土		
3	日	憲法記念日	
4	月	みどりの日	
5	火	こどもの日	
6	水	振替休日	
7	木	2年埼玉県学力学習状況調査 体育祭学年練習 火曜授業 各種委員会	○
8	金	3年埼玉県学力学習状況調査 体育祭学年練習 16:00PTA総会(柔道場)	○
9	土		
10	日		
11	月	1年埼玉県学力学習状況調査	○
12	火	体育祭予行(雨なら13日の授業)	○
13	水	体育祭予行予備	○
14	木	AM歯科健診 火曜授業	○
15	金	木曜授業 PM体育祭準備	○
16	土	体育祭(雨なら18日の授業)弁当持参	弁当
17	日		
18	月	体育祭予備①	○
19	火	振替休業日	
20	水	4時間授業 朝霞市一斉主任研修会 ふれあいデー	○
21	木	体育祭予備②	○
22	金	地区通信陸上 テスト7日前(部活中止)	○
23	土	地区通信陸上	
24	日		
25	月		○
26	火	生徒朝礼	○
27	水		○
28	木		○
29	金	中間テスト(1年は30分)	○
30	土		
31	日		

★6月の主な行事★

※変更する場合があります

3(水)進路学習会(3年)

4(木)耳鼻科検診

5(金)6(土)県通信陸上

9(火)10(水)尿検査2次

10(水)各種委員会

22(月)壮行会

23(火)24(水)学総地区大会 テニス

25(木)~30(火)学総地区大会





令和8年度6月号

朝二中だより

朝霞市立朝霞第二中学校

令和8年5月25日発行

〒351-0007 朝霞市岡 199

電話(461)6540・fax(467)4742

家庭・地域・学校 温かなつながりが創り、支えた体育祭

校長 小石川 知治

5月16日、第61回体育祭を開催いたしました（関連は裏面に掲載）。当日は天気にも恵まれ、生徒たちは仲間と協力し、励まし合いながら、競技や応援に全力で取り組み、グラウンドいっぱいに広がる声援や拍手からは、温かな一体感を感じることができました。応援に駆けつけてくださったご来賓の皆様、保護者の皆様、また、運営にご協力くださった役員の皆様、本当にありがとうございました。

今年の体育祭では、生徒応援席の後方に真新しいテント10張りが設置されました。これは熱中症対策として、本校保護者と教師の会より提供されたものです。また、競技中には、噴霧器を担いだ保護者の皆様が生徒席を回り、ミストシャワーで生徒たちの暑さを和らげてくださいました。この噴霧器は、朝霞市民まつり実行委員会の皆様からお借りしたものです。5月とは思えない暑さが心配されたことによる直前のお願いではありましたが、快くご協力くださいました。この場をお借りして、保護者、地域の皆様の温かな支えに深く感謝を申し上げます。



体育祭の実施に当たっては、開放する門や役員の方に立っていただく箇所の見直し、その代わりとしての掲示物の設置等、負担軽減と安全面の両立を図る改善を、前年度のうちから保護者と教師の会の皆様が共に考えてくださいました。そして、当日、会長よりいただいた「生徒の皆さんは体育祭を楽しんでください」「私たち保護者は精一杯応援し、皆さんの姿を見て楽しみます」とのご挨拶にはとても励まされました。

本校の目指す学校像は「地域の中で 仲間とともに 家庭とともに 私らしく伸びる学校」です。まだまだ生徒のためにできること、挑戦したいことがたくさんあります。藤巻会長とタッグを組んで2年目となります。これからも学校・家庭・地域で思いを持ち寄り、生徒を中心に据えながら、二中と校区の良さを発信し続けます。そして、生徒だけでなく、保護者の皆様も、地域の皆様も、誰もが誇れる「日本一の学校づくり」を皆様とともに進めてまいります。今月も宜しくお願いいたします。

朝霞地区通信陸上競技大会結果

《男子》				
3年100m	第3位	高原 真麻	県大会補欠	
200m	第2位	高原 真麻	県大会シード	
1500m	第3位	下川原 葵心	県大会	
3000m	第4位	下川原 葵心	県大会	
110mH	優勝	増岡 夢生	県大会	
走 高 跳	第7位	佐藤 煌晟		
	第8位	浦門 慶		
走 幅 跳	第2位	古賀 翔大	県大会	
	第5位	小野 敢大		
砲 丸 投	第3位	矢野 海翔	県大会	
	第4位	鈴木 健祐	県大会補欠	
円 盤 投	優勝	矢野 海翔	県大会	
4×100mR	第7位	古賀翔大・高原真麻・増岡夢生・宮島匠		

《女子》				
1年100m	第4位	関口 織江	県大会補欠	
	第8位	小林 由芽		
2年100m		櫻井 彩葉	県大会	
100mH	第6位	西牧 菜々		
走 高 跳	第3位	小林 はな	県大会	
	第7位	山崎 菜奈	県大会補欠	
走 幅 跳	第3位	近藤 花	県大会補欠	
砲 丸 投	第6位	佐藤 莉子	県大会補欠	
円 盤 投	第2位	渡邊 唯	県大会	
	第7位	佐藤 莉子	県大会補欠	

県大会は、熊谷スポーツ文化公園にて
6月5日(金)・6日(土)に行われます。

令和8年度第61回体育祭が行われました

5月16日(土)に体育祭が行われました。朝から気温が上昇し、大変暑い中での開催となりました。熱中症の心配もありましたが、対策として、保護者と教師の会より TENT を10張を提供いただき、また、朝霞市民まつり実行委員会より噴霧器をお借りするなどして暑さ対策を行いました。生徒たちは各々の目標達成に向け、これまでの練習の成果を発揮してくれました。ご来場の皆様からは、大きな声援をかけていただきました。また、保護者の皆様には、お弁当の準備や熱中症への対策等、様々な面でご協力いただき、本当にありがとうございました。



体育祭結果

	1 年	2 年	3 年
1 位	6組 202点	3組 184点	2組 213点
2 位	2組 190点	8組 179点	1組 194点
3 位	1組 182点	1組 172点	3組 185点
敢闘賞	9組・10・11組		

令和8年度教科書展示会のお知らせ

令和8年度に小・中学校で使用される教科書の展示会が開催されます。

○場所：朝霞市産業文化センター（朝霞市浜崎669-1）【048-487-6222】

○日時：令和8年6月29日(月)～7月12日(日)

午前10時～午後6時(平日) 午前9時30分～午後3時30分(土・日)

※6月29日(月)は、午後1時～午後6時まで

詳細は教育委員会教育指導課までお問い合わせください【教育指導課】048-463-2884

6月の行事予定

日	曜	行 事 予 定	給食	部活
1	月		○	○
2	火	学校朝礼 教育実習終了(1名)	○	○
3	水	金曜授業 進路学習会(3年)	○	○
4	木	8:45 耳鼻科検診 教育実習終了(2名)	○	○
5	金	水曜授業 県通信陸上①	○	○
6	土	県通信陸上②		
7	日			
8	月		○	○
9	火	尿検査2次	○	○
10	水	尿検査2次 各種委員会	○	○
11	木		○	○
12	金		○	○
13	土			
14	日			
15	月		○	○
16	火		○	○
17	水		○	○
18	木		○	○
19	金		○	○
20	土			
21	日			
22	月	木曜授業 壮行会	○	○
23	火	金曜授業 学総テニス	○	○
24	水	学総 テニス	○	○
25	木	学総① テニス・陸上 45分×3	×	○
26	金	学総② 陸上 45分×3	×	○
27	土	学総③ 硬筆中央展(和光広沢小)		
28	日	学総バレー 硬筆中央展(和光広沢小)		
29	月	学総④(予備①) テスト7日前	○	×
30	火	学総④(予備②) ふれあいデー	○	×

★7月の主な行事★ ※変更する場合があります

1(水)45分×5 生徒総会(6校時)

6(月)期末テスト 7(火)期末テスト 非行防止教室

8(水)火曜授業 栽培デー

9(木)各種委員会(必要に応じて)

10(金)栽培デー

15(水)給食最終 授業参観 保護者会 学校運営協議会

16(木)学活・集会・大掃除

17(金)終業式



令和8年度7月号

朝霞市立朝霞第二中学校

令和8年6月29日発行

〒351-0007 朝霞市岡199

電話(461)6540・fax(467)4742

朝二中だより

保護者の皆様に託された大切なバトン

～定期健診のその先をよろしく願いします～

校長 小石川 知治

本校では学校保健安全法に基づく定期健康診断を6月末までに実施しております。今年度の歯科健診も、体育祭前の5月14日に終了いたしました。結果はいかがでしたでしょうか。5月27日付でお子様個々に「歯・口腔の健康診断結果のお知らせ」をお渡ししており、経過観察や受診が必要と判断された場合には、その旨を記載してお渡ししております。

ところで、毎年複数回にわたり、お知らせをお渡ししておりますが、歯科の治療率はここ数年ほぼ横ばいであり、決して望ましい状況であるとは言えません。

歯はケガのように自然に治ることはありません。「気づいたらむし歯が消えていた」ということはなく、放っておけばむし歯が進行し、やがては歯を失うこともあります。

だからこそ本校では、健診直後だけでなく、夏休み中の三者面談や冬休み前等に、繰り返し受診のお願いをしております。「まだ大丈夫だろう」ではなく、「今のうち、むし歯が小さいうちに治しておこう」という意識をぜひご家庭でも大切にしていいただければと思います。

「人生100年時代」と言われます。長く生きるだけでなく、健康に生活できる期間、いわゆる「健康寿命」を延ばすことの重要性が高まっています。その中で歯の健康は食事だけでなく、会話や体力、さらには生活の質そのものにも深く関わっています。

「8020運動」という言葉をご存じでしょうか。80歳になっても20本以上の自分の歯を保とうという取組です。まだずっと先の話のように感じるかもしれませんが、しかし、将来の健康は、今の生活習慣や受診の積み重ねによって作られていきます。

これからも学校では引き続き声をかけてまいります。今年は、1学期末の保護者会でも改めて話をさせていただく予定です。保護者の皆様におかれましては、お子様の健やかな成長のため、10年後、50年後、80年後のお子様の健康ため、保護者の皆様のご理解と確実なご協力をお願いいたします。

学校総合体育大会地区大会結果

野球部 準優勝（県大会）
テニス部
 団体 第3位（県大会）
 ダブルス 藤原奈々子・塚本さくら ベスト4（県大会）
 藤本菜生・工藤みずす ベスト8（県大会）
剣道部
 男子団体 準優勝（県大会）
 高木翔太郎・角田健人・藤井亮河・東城新
 伴野正紘・早坂史央・田島弘稀
 男子個人 田島弘稀 1位（県大会）
 早坂史央 2位（県大会）
 女子団体 惜敗
 女子個人 惜敗
ソフトボール部 第3位
サッカー部 優勝（県大会）
卓球部
 男子・女子団体 惜敗
 男子個人戦ダブルス 杉本和太郎・清水葵葉ペア ベスト8
 女子個人 惜敗
柔道部
 男子団体 女子団体 惜敗
 男子個人 女子個人（体重別）1位 中嶋 瑠花（県大会）
 2位 工藤 はなた
男子バスケットボール部 優勝（県大会）
女子バスケットボール部 惜敗
バレーボール部 惜敗
陸上競技部
 【総合】男子 第4位 女子 第3位
 《男子》
 200m 優勝 高原真麻（県大会シード）
 第8位 宮島匠
 3000m 第2位 下川原葵心（県大会シード）
 仲嶋淳吾（県大会）
 110mH 第2位 増岡夢生（県大会）
 走高跳 第5位 佐藤煌晟（県大会補欠）
 第7位 浦門慶
 走幅跳 第4位 小野敢大（県大会補欠）
 第5位 古賀翔大
 砲丸投 第2位 鈴木健祐（県大会補欠）
 円盤投 第3位 矢野海翔（県大会）
 4×100mR 第6位 宮島匠・高原真麻・増岡夢生
 ・古賀翔大（県大会）
 2年100m 第8位 山口陽大（県大会）※個人参加
 《女子》
 1年100m 第4位 関口織江（県大会補欠）
 第5位 小林由芽
 800m 第5位 砂口由葉（県大会）
 100mH 第7位 西牧菜々（県大会補欠）
 走高跳 第3位 小林はな（県大会）
 第7位 山崎葉奈（県大会補欠）
 走幅跳 第2位 近藤花（県大会）
 砲丸投 第6位 佐藤莉子（県大会）
 円盤投 第2位 渡邊唯（県大会）
 第4位 樋口維香（県大会補欠）
水泳
 女子100m・200m自由形 池田香苗（県大会）
バドミントン 佐藤莉子 ベスト8
 ※個人参加競技（相撲）は大会日程が終了していません。
 結果がわかり次第ご連絡いたします。
県大会に出場する生徒は最後まで頑張ってください。

7月の行事予定

日	曜	行 事 予 定	給食	部活
1	水	4 5 分×5 生徒総会（6校時）	○	×
2	木		○	×
3	金		○	×
4	土			
5	日			
6	月	期末テスト	○	×
7	火	期末テスト 非行防止教室	○	○
8	水	火曜授業 栽培デー ※16日延期	○	○
9	木		○	○
10	金	栽培デー	○	○
11	土			
12	日			
13	月		○	○
14	火	生徒朝礼	○	○
15	水	給食終了 授業参観・保護者会 学校運営協議会	○	○
16	木	大掃除	×	○
17	金	終業式	×	×
18	土			
19	日			
20	月	海の日 夏季休業日（8月28日まで）		
21	火	三者面談（31日まで）		
22	水			
23	木			
24	金			
25	土			
26	日			
27	月			
28	火			
29	水			
30	木			
31	金			

★8月の主な行事★ ※変更する場合があります

（～28(金)夏季休業日）
 1日(土)2日(日)二中鳴子「双葉」演舞（彩夏祭）
 4(火)～17(月)学校閉庁日
 28(金)3年第1回校長会テスト(弁当持参) 31(月)始業式 掃除
 9(木)各種委員会（必要に応じて） 10(金)栽培デー

学校閉庁日について

8月4日（火）～17日（月）まで学校閉庁日となります。この期間は、終日自動応答電話の対応となります。学校に教職員はおりませんので、緊急時等は朝霞市教育委員会（電話048-463-1111）におかけください。なお、朝霞市役所の開庁時間は8時30分～17時15分となっています。

※次号9月号は8月25日（火）の発行を予定しています。

二中鳴子「双葉」について

6月15日（月）の昼休み、結団式が行われ、令和8年度朝霞二中鳴子「双葉」が活動しました。「朝霞なご遊和会」の皆さんに技術指導を受けながら、木曜日の夜間、日曜日の早朝に練習を行います。今年度は8月1日（土）に朝霞会場にて、8月2日（日）に北朝霞会場にて演舞予定です。生徒、保護者の皆様の応援とご協力をお願いいたします。

令和 8 年 7 月 15 日

令和 8 年度学校運営協議会「熟議」事前アンケート結果報告

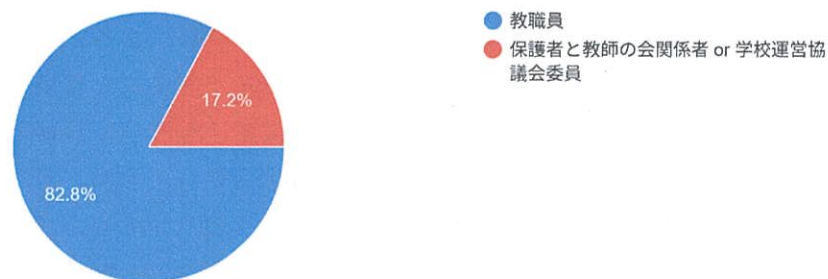
実施期間；令和 8 年 6 月 25 日(木)～7 月 14 日(火)

対象者数：教職員 41 名

回答者数：29 名（教職員 24 名、保護者と教師の会及び学校運営協議会 5 名）

属性をご回答ください。

29 件の回答



※双方の回答をクロス分析し特徴を明記、昨年度の結果との比較も実施

設問 1 本校の【自慢】をご回答ください。

① 教職員の回答

教職員・学校組織

- ・教職員の連携がよい・一丸となって取り組んでいる (4)
- ・教職員が熱意をもって生徒に向き合っている (4)
- ・若い教職員が多く、学校や職員室に活気がある (4)
- ・教職員の指導力・校長のリーダーシップ (2)
- ・「日本一の学校」を目指して工夫している (1)

自然・環境・栽培活動

- ・緑や植物、花が豊かである (5)
- ・栽培活動が盛んである (4)
- ・校庭・ベランダ通路など施設に特色がある (2)

生徒・教育活動

- ・生徒が明るく素直である (3)
- ・部活動・委員会活動が盛んである (4)

その他

- ・歴史ある校舎 (1)

- ・なし (2)

② 保護者と教師の会関係者・学校運営協議会委員の回答

- ・若い教職員が多く活気がある (1)
- ・地域に根付いた歴史ある学校 (1)
- ・挨拶や部活動が盛ん (1)
- ・教師と保護者の関係が良い (1)
- ・校長を中心に文武両道で取り組んでいる (1)

設問1のまとめ

教職員からは、教職員同士の連携や熱意、若い教職員による活気ある学校づくりが本校の大きな自慢として挙げられた。また、緑や花に囲まれた環境や栽培活動、部活動・委員会活動の活発さなど、本校ならではの教育活動も多く評価されている。

一方、保護者と教師の会関係者・学校運営協議会委員からは、若い教職員による活気や地域に根付いた歴史、挨拶や部活動など、生徒の日頃の姿が評価されたほか、教師と保護者との良好な関係や校長を中心とした学校運営にも期待と評価が寄せられている。

双方の回答から見える特徴

教職員・委員等ともに、「人」を本校最大の強みとして捉えている点が共通している。教職員は、日々ともに働く仲間との連携や熱意、学校全体の活気を強みとして挙げる一方、委員等は、若い教職員の活力や学校全体の雰囲気など、学校を外側から見た印象を評価している。また、教職員は自然環境や栽培活動など学校の特色ある教育活動を多く挙げているのに対し、委員等は地域に根付いた歴史や文武両道の学校文化に目を向けている点が特徴的である。

昨年度との比較

昨年度に引き続き、「教職員の熱意」「自然環境」「栽培活動」「部活動」は本校を代表する強みとして共通して挙げられた。一方、今年度は「日本一の学校」という学校目標や、学校全体で同じ方向を目指そうとする意識に触れる回答が見られたことが、新たな特徴として挙げられる。

設問2 本校の【課題】をご回答ください。

① 教職員の回答

施設・設備

- ・校舎・設備の老朽化 (4)

- ・施設・設備の不具合（２）
- ・特別教室に内線電話がないなど設備面の課題（１）
- ・環境整備・清掃時間の不足（３）
- ・水道の数が少ない（２）

安全・危機管理

- ・校内の施設やセキュリティ面への課題（２）

教育活動・生徒

- ・授業力の向上（１）
- ・学習に取り組みにくい生徒への対応（１）
- ・指導の的確さや瞬発力（１）

教職員・学校運営

- ・働き方改革による混乱（１）
- ・仕事量・残業の多さ（１）
- ・仕事の偏り（１）
- ・経験豊富な教職員が少ない（１）
- ・保護者対応（１）

その他

- ・地域との連携（１）
- ・特になし（２）

② 保護者と教師の会関係者・学校運営協議会委員の回答

- ・施設・設備の老朽化（３）
- ・保護者同士・学校との交流機会が少ない（１）
- ・特になし（１）

設問２のまとめ

教職員からは、校舎や設備の老朽化をはじめ、清掃時間や設備不足など教育環境に関する課題が最も多く挙げられた。また、働き方改革や業務量、経験年数の偏りなど学校運営に関する課題や、生徒指導・授業力向上への意見も見られた。

一方、保護者と教師の会関係者・学校運営協議会委員からも施設・設備の老朽化が最も多く挙げられたほか、コロナ禍以降、保護者同士や学校との交流機会が減少していることを課題とする意見があった。

双方の回答から見える特徴

施設・設備の老朽化は、教職員・委員等の双方が共通して認識する最も大きな課題となっている。一方で、教職員は日々の教育活動を通して、業務量や授業改善、生徒

指導など学校内部の課題を多面的に捉えているのに対し、委員等は学校施設や学校・家庭のつながりなど、外部から見える課題に視点が置かれていることが特徴である。

昨年度との比較

昨年度に引き続き、施設・設備の老朽化は共通課題として挙げられた。今年度はそれに加え、教職員からは働き方や業務分担、経験年数の偏りなど学校運営に関する課題が具体的に示されたほか、委員等からは保護者同士や学校との交流機会の減少が課題として挙げられた点が特徴である。

設問3 本校の生徒に関する【自慢】をご回答ください。

① 教職員の回答

人柄・学校生活

- ・明るく元気で活発である（9）
- ・素直である（4）
- ・人懐っこく親しみやすい（3）
- ・穏やかである（1）

挨拶・礼儀

- ・挨拶がよくできる（6）

学校生活・活動

- ・部活動に熱心に取り組んでいる（3）
- ・行事や集会で落ち着いて行動できる（1）
- ・自己表現ができる（1）
- ・大人を信頼している生徒が多い（1）

② 保護者と教師の会関係者・学校運営協議会委員の回答

- ・挨拶や礼儀が身に付いている（3）
- ・誰にでも挨拶ができる（1）
- ・部活動で活躍している（1）

設問3のまとめ

教職員からは、「明るく元気」「素直」「人懐っこい」といった生徒の人柄を評価する回答が最も多く寄せられた。また、気持ちのよい挨拶や部活動への積極的な取組、集団生活で落ち着いて行動できる姿勢なども、本校生徒の自慢として挙げられている。

一方、保護者と教師の会関係者・学校運営協議会委員からは、挨拶や礼儀正しさへの評価が中心となり、部活動で活躍する姿も高く評価されている。

双方の回答から見える特徴

教職員・委員等ともに、生徒の挨拶のよさを本校の大きな強みとして挙げており、学校内外の双方から評価されていることが分かる。一方、教職員は毎日の学校生活を通して、明るさや素直さ、人懐っこさなど生徒の内面的な良さを多く挙げているのに対し、委員等は地域で接する機会が多いことから、挨拶や礼儀、部活動など外から見えやすい姿を評価している点が特徴である。

昨年度との比較

昨年度と同様に、「明るさ」「素直さ」「挨拶」は本校生徒を代表する長所として共通して挙げられた。今年度も地域からは挨拶への評価が高く、学校生活の中で培われた礼儀や規範意識が地域にも伝わっていることがうかがえる。また、部活動への積極的な取組についても継続して評価されている。

設問 4 本校の生徒に関する【課題】をご回答ください。

① 教職員の回答

主体性・思考力

- ・主体的に学び、行動する力が不足している（4）
- ・自分で考え、判断する力が弱い（4）
- ・思考力・判断力に課題がある（2）

発達面・生活面

- ・幼さが見られる（4）
- ・学力や能力の二極化・格差（3）
- ・最後まで頑張り切れないことがある（1）
- ・整理整頓が苦手（1）
- ・自己表現が苦手な生徒がいる（1）

規範意識・生徒指導

- ・ルールを守れない生徒がいる（2）
- ・生徒指導上の課題（喫煙・窃盗等を含む）（2）
- ・落ち着きがない（1）
- ・善悪の判断が十分でない（1）

健康面

- ・むし歯治療など健康管理への課題（2）

② 保護者と教師の会関係者・学校運営協議会委員の回答

- ・素行不良生徒への対応（1）
- ・一部生徒の居場所や発散の場が必要（1）
- ・分からない・特になし（3）

設問4のまとめ

教職員からは、自ら考え判断し、主体的に行動する力の育成を課題とする回答が最も多く寄せられた。また、発達段階に比べた幼さや学力・能力の二極化、規範意識や生徒指導上の課題、健康管理への課題など、多面的な視点から生徒の成長に関する意見が挙げられている。

一方、保護者と教師の会関係者・学校運営協議会委員からは、一部の生徒への支援や居場所づくりを求める意見があったものの、「分からない」「特になし」とする回答も多く見られた。

双方の回答から見える特徴

教職員は日常の学校生活を通して、生徒一人一人の学習面や生活面、発達面まで含めた具体的な課題を捉えている。一方、委員等は学校生活を直接見る機会が限られるため、個々の生徒の様子よりも、地域から見える生徒指導上の課題や居場所づくりに関心が向けられている。双方に共通しているのは、一部の生徒への支援の必要性を認識している点であり、その支援の在り方について学校・家庭・地域が連携して考えていくことが求められる。

昨年度との比較

昨年度も主体性や思考力、幼さが課題として挙げられていたが、今年度は「主体性」と「思考力・判断力」をより具体的に課題として捉える回答が増えた。また、学力だけでなく生活面を含めた二極化や、生徒一人一人に応じた支援の必要性を指摘する回答も見られた。一方、委員等からは、一部生徒の居場所づくりや地域での見守りにつながる視点が新たに示されている。

設問5 本校の教職員に関する【自慢】をご回答ください。

※本設問は、保護者と教師の会関係者・学校運営協議会委員を対象とした設問です。

保護者と教師の会関係者・学校運営協議会委員の回答
教育活動・指導

- ・授業を工夫している（1）

- ・教育に対する熱意がある（１）

生徒との関わり

- ・生徒と良好な関係を築いている（１）
- ・生徒の目線に立って接している（１）

その他

- ・なし（２）

設問５のまとめ

保護者と教師の会関係者・学校運営協議会委員からは、教職員の教育に対する熱意や、授業における創意工夫が評価された。また、生徒と良好な関係を築き、生徒の目線に立って寄り添いながら指導している姿勢も、本校教職員の大きな強みとして挙げられている。回答数は多くないものの、教職員の日頃の教育活動や生徒との関わりに対する信頼がうかがえる。

昨年度との比較

昨年度も、教職員の「熱意」や「生徒との距離の近さ」が本校の強みとして評価されていた。今年度も同様に、授業における創意工夫や、生徒の目線に立った丁寧な関わりが挙げられており、教職員への信頼は継続して高いことがうかがえる。一方で、「若い教職員が多い」という学校の特色に触れる回答は昨年度より少なく、今年度は日々の教育実践そのものへの評価が中心となっている。

設問６ 本校の教職員に関する【課題】をご回答ください。

※本設問は、保護者と教師の会関係者・学校運営協議会委員を対象とした設問です。

保護者と教師の会関係者・学校運営協議会委員の回答

働き方・勤務環境

- ・働き方改革への対応や労働時間の削減（２）
- ・働き方改革により、放課後の生徒への関わりが減少していることへの懸念（１）

その他

- ・なし（３）

設問6のまとめ

保護者と教師の会関係者・学校運営協議会委員からは、教職員の働き方改革や勤務時間の適正化を課題とする意見が寄せられた。特に、勤務時間の短縮を進める一方で、放課後の部活動や生徒との関わりが制限されることへの懸念が示されており、教育活動と働き方改革の両立をどのように図るかが課題として認識されている。

昨年度との比較

昨年度も教職員の多忙さや働き方改革に関する課題が挙げられており、今年度も同様の傾向が見られた。一方で、今年度は単に勤務時間の削減だけではなく、働き方改革が生徒との関わりや教育活動へ与える影響を心配する意見が見られたことが特徴である。

設問7 本校の保護者に関する【自慢】をご回答ください。

※本設問は、教職員を対象とした設問です。

教職員の回答

学校への理解・協力

- ・学校や教育活動に協力的である（10）
- ・学校への理解がある（2）
- ・学校行事や部活動へ積極的に参加・協力している（4）
- ・栽培活動など教育活動への支援がある（1）

子どもへの関わり

- ・子どもや学校への関心が高い（3）
- ・学校と情報共有を図りながら連携できる（3）
- ・学校とともに子どもの成長を支えようとしている（2）
- ・子どもの課題にも向き合っている（1）
- ・地域の子どもにも目を向けることができる（1）

その他

- ・なし（1）

設問7のまとめ

教職員からは、保護者が学校や教育活動に協力的であるという回答が最も多く寄せられた。学校行事や部活動への参加、栽培活動への協力など、学校を支える姿勢が高く評価されている。また、子どもや学校への関心が高く、学校と情報共有を図りなが

ら連携して子どもの成長を支えようとする保護者が多いことも、本校の大きな強みとして挙げられた。

昨年度との比較

昨年度も「保護者の協力的な姿勢」が最も多く挙げられており、今年度もその傾向は変わらない。一方で、今年度は学校行事や教育活動への参加だけでなく、学校と情報共有を行いながらともに子どもを育てようとする姿勢や、地域全体で子どもを見守ろうとする意識に触れる回答が見られたことが特徴である。

設問 8 本校の保護者に関する【課題】をご回答ください。

※本設問は、教職員を対象とした設問です。

教職員の回答

家庭の教育力・子どもへの関わり

- ・一部の保護者の子どもへの関心が低い（3）
- ・子どもに甘い・過保護な保護者がいる（4）
- ・家庭でのしつけや教育力に課題がある（2）
- ・ネグレクトや放任傾向が見られる家庭がある（2）

学校との連携

- ・学校への期待が大きい保護者がいる（1）
- ・連絡や相談が取りづらい家庭がある（2）
- ・健康診断後の受診など、学校からの依頼に応じてもらえない家庭がある（3）
- ・保健教育への関心に差がある（1）

保護者対応

- ・マナーや社会的常識に課題がある保護者がいる（2）
- ・子どもの話をそのまま受け止めてしまう保護者がいる（1）

その他

- ・特になし・分からない（8）

設問 8 のまとめ

教職員からは、多くの保護者が学校に協力的である一方、一部の家庭における子どもへの関わり方や家庭の教育力に課題があるとの回答が寄せられた。特に、過保護や放任、家庭でのしつけ、学校との連携の難しさ、健康診断後の受診率などについて意見が見られた。一方で、「特に課題はない」「思い当たらない」とする回答も多く、全

体としては協力的な保護者が多いという認識の中で、一部家庭への支援の必要性が課題として挙げられている。

昨年度との比較

昨年度も、家庭の教育力や学校との連携に関する課題が挙げられていたが、今年度は健康診断後の受診や保健教育への関心など、健康面に関する具体的な課題が複数回答として見られた。また、「特に課題はない」とする回答が昨年度よりも多く、保護者全体への評価は引き続き良好である一方、支援が必要な家庭への対応がより明確な課題として認識されていることがうかがえる。

設問 9 本校の地域に関する【自慢】をご回答ください。

① 教職員の回答

地域の見守り・学校との連携

- ・地域で生徒を見守ってくれている (5)
- ・生徒の様子を学校へ連絡・情報提供してくれる (6)
- ・地域との連携が強い (2)

自然・環境

- ・自然が豊かである (5)
- ・黒目川など恵まれた自然環境がある (2)

地域の特色

- ・コミュニティ・スクールが充実している (2)
- ・地域のつながりを大切にしている (1)
- ・穏やかな地域である (1)

その他

- ・なし (2)

② 保護者と教師の会関係者・学校運営協議会委員の回答

- ・地域による見守り活動が行われている (1)
- ・学校行事などへ協力している (1)
- ・地域性の異なる町会等が学校に関わっている (1)
- ・なし (2)

設問 9 のまとめ

教職員からは、地域が日頃から生徒を見守り、良いことも気になることも学校へ情報提供してくれることが、本校の大きな強みとして多く挙げられた。また、自然豊かな環境や、コミュニティ・スクールをはじめとする地域との連携も高く評価されてい

る。一方、保護者と教師の会関係者・学校運営協議会委員からも、見守り活動や学校行事への協力、地域ごとの特色を生かした学校への関わりが地域の強みとして挙げられた。

双方の回答から見える特徴

教職員・委員等ともに、地域が学校や生徒を温かく見守っていることを本校の大きな強みとして認識している点が共通している。教職員は、学校へ情報提供してくれる地域の存在を高く評価しているのに対し、委員等は、地域の見守り活動や学校行事への協力など、自ら地域の一員として学校を支えている意識が表れている。また、自然豊かな環境も双方から評価されており、学校と地域が密接につながる教育環境が本校の特色となっている。

昨年度との比較

昨年度も、「地域の見守り」「自然環境」「学校への協力」は本校地域の大きな強みとして挙げられており、今年度もその傾向は変わらない。今年度は、コミュニティ・スクールや地域ごとの特色を生かした学校への関わりに触れる回答が見られ、地域全体で学校を支えようとする意識がより具体的に表れていることが特徴である。

設問 10 本校の地域に関する【課題】をご回答ください。

① 教職員の回答

地域との関わり・連携

- ・地域の教育力の向上（1）
- ・その場で生徒へ声掛けや注意をしてほしい（4）
- ・問題発見時に学校だけでなく地域でも対応できる体制づくり（1）

通学・生活環境

- ・学区が広い（1）
- ・細い路地や暗い道が多く、安全面に課題がある（2）

その他

- ・特になし・分からない（14）

② 保護者と教師の会関係者・学校運営協議会委員の回答

地域組織・地域力

- ・自治会・町内会役員の高齢化、世代交代（2）
- ・学校と地域との意識の距離（1）

その他

- ・なし（2）

設問 10 のまとめ

教職員からは、地域との連携そのものには大きな課題を感じていないとの回答が多く見られた。一方で、地域で生徒を見かけた際には、その場での声掛けや見守りなど、学校だけでなく地域全体で子どもを育てる意識を期待する声が挙げられた。また、学区の広さや通学路の安全面も課題として認識されている。

保護者と教師の会関係者・学校運営協議会委員からは、自治会・町内会の担い手不足や高齢化、学校と地域との意識の距離が課題として挙げられた。

双方の回答から見える特徴

教職員・委員等ともに、地域との関係は概ね良好であると捉えている一方、**「これからの地域とのつながりをどう維持・発展させていくか」**という点に課題意識が見られた。教職員は地域による日常的な見守りや声掛けを期待しているのに対し、委員等は地域活動の担い手不足や世代交代を課題として捉えており、今後は新たな地域人材や保護者も含めた持続可能な地域との連携体制づくりが求められていることがうかがえる。

昨年度との比較

昨年度は、地域の教育力や学区の広さなどが課題として挙げられていたが、今年度は「特に課題はない」とする回答が教職員に多く見られたことが特徴である。一方で、委員等からは自治会・町内会役員の高齢化や世代交代への危機感が示されており、学校と地域の連携を継続していくための基盤づくりが、新たな課題として浮かび上がっている。

設問 11 どのような生徒に育てていきたいですか。

① 教職員の回答

主体性・判断力

- ・自ら考え、判断し、行動できる生徒（7）
- ・課題を解決できる生徒（2）
- ・チャレンジし続ける生徒（2）

思いやり・協調性

- ・思いやりや礼儀を大切にできる生徒（5）
- ・周囲と協力し、人との関わりを大切にできる生徒（3）

人間性・生きる力

- ・素直な心を持ち、人から愛される生徒（4）
- ・社会の中でたくましく生きる力を身に付けた生徒（3）
- ・心身ともに健康で心豊かな生徒（2）

その他

- ・地域・家庭とともに成長できる生徒（1）

② 保護者と教師の会関係者・学校運営協議会委員の回答

- ・正しい判断ができる生徒（1）
- ・いじめのない学校をつくる生徒（1）
- ・自尊感情が高く、自校や地域に誇りをもてる生徒（1）
- ・なし（2）

設問 11 のまとめ

教職員からは、自ら考え判断し、主体的に行動できる生徒を育てたいという回答が最も多く寄せられた。また、思いやりや礼儀を大切にし、周囲と協力できること、社会の中でたくましく生きる力を身に付けることも重視されている。

一方、保護者と教師の会関係者・学校運営協議会委員からは、正しい判断力や自尊感情、学校や地域への誇りを持ち、いじめのない学校づくりに貢献できる生徒像が示された。

双方の回答から見える特徴

教職員・委員等ともに、「自立した人間の育成」を共通した願いとして捉えていることが分かる。教職員は、学校生活を通して主体性や協調性を育むことを重視しているのに対し、委員等は、社会の中で正しく判断し、自分や学校・地域に誇りをもって生きる姿を期待している。視点は異なるものの、「将来、社会の中で信頼される人に育てほしい」という願いは共通している。

昨年度との比較

昨年度も「主体性」「思いやり」「生きる力」が中心的なキーワードであり、今年度もその方向性は変わらない。一方で、今年度は委員等から「自尊感情」や「学校・地域への誇り」といった回答が見られたことが特徴である。また、教職員からもチャレンジ精神や課題解決力を重視する回答が増え、変化の激しい社会を見据えた生徒像がより明確になっている。

設問 12 学校運営協議会に期待するものは何ですか。

① 教職員の回答

学校・家庭・地域の連携

- ・学校・家庭・地域をつなぐ役割・コーディネート（5）
- ・地域と学校の協働・協力の推進（4）

- ・生徒のために共に取り組むこと（３）

助言・提案

- ・学校運営への意見やアイデア、助言（３）
- ・課題を整理し、一緒に解決を考えること（２）

学校との関わり

- ・学校の様子を積極的に見てほしい（２）
- ・学校の内側に入り、遠慮なく関わってほしい（１）
- ・チルドレンファーストにつながる地域力・保護者力の向上（１）

その他

- ・なし・特に思いつかない（８）

② 保護者と教師の会関係者・学校運営協議会委員の回答

学校との協働

- ・学校・地域・PTAをつなぐコーディネート機能（１）
- ・教職員とともに学校運営を考えること（１）

提言・助言

- ・多方面からの前向きな意見や提案（１）
- ・教育委員会への提言（１）

その他

- ・なし（１）

設問 12 のまとめ

教職員からは、学校運営協議会に対し、学校・家庭・地域をつなぐコーディネート役としての機能や、学校運営への助言、課題解決に向けた協働を期待する回答が多く寄せられた。また、学校の様子を積極的に見て理解を深めてほしいという意見も見られた。

一方、保護者と教師の会関係者・学校運営協議会委員からは、学校・地域・PTAをつなぐ役割や、教職員とともに学校づくりを進めること、多様な立場から前向きな提言を行うことへの期待が示された。

双方の回答から見える特徴

教職員・委員等ともに、学校運営協議会を「学校を支え、ともに学校づくりを進める組織」として捉えている点が共通している。教職員は、学校現場を理解した上で課題解決に向けた助言や地域との橋渡し役を期待している。一方、委員等は、学校・地

域・PTAをつなぐ役割や、多様な立場から学校運営を支えることを自らの役割として認識しており、双方の期待する方向性は概ね一致している。

昨年度との比較

昨年度も、学校・家庭・地域をつなぐ役割や学校への支援・協力が学校運営協議会に期待されていた。今年度は、その役割に加え、「教職員とともに学校運営を考える」「前向きな提案やアイデアを出し合う」といった、より協働性を重視する回答が目立った。また、教職員からは学校の実情を知った上で伴走してほしいという期待も見られ、学校運営協議会を「支援する組織」から「ともに学校をつくる組織」へと捉える意識がより強まっていることがうかがえる。

全体総評

教職員 24 名、保護者と教師の会関係者・学校運営協議会委員 5 名を対象に実施した事前アンケートでは、本校の強みとして「生徒の明るさや挨拶」「教職員の熱意」「保護者や地域の協力的な姿勢」が、立場を超えて共通して挙げられた。特に、生徒の礼儀や人懐っこさ、教職員の生徒に寄り添う姿勢は、学校内外の双方から高く評価されており、本校の特色として定着していることがうかがえる。また、地域による見守りや自然環境の豊かさなど、地域とともに子どもたちを育てる土壌についても、昨年度に引き続き本校の大きな強みとして認識されている。

一方、課題としては、施設・設備の老朽化が教職員・委員等双方から共通して挙げられたほか、教職員からは生徒の主体性や思考力、規範意識、学力や生活面における二極化など、日々の教育活動の中で感じる具体的な課題が多く示された。また、働き方改革や業務量など、教育活動を継続していくための学校運営上の課題も継続して挙げられている。

学校運営協議会委員等からは、学校の実際の姿と地域に伝わるイメージとの隔たりや、地域活動の担い手不足、学校・地域・家庭のつながりを維持・発展させていく必要性など、地域の立場ならではの視点が示された。教職員と委員等では見えている課題に違いはあるものの、「学校・家庭・地域がそれぞれの立場で協力しながら子どもたちを育てていく」という方向性については共通した認識が見られた。

昨年度は、中学校の課題を広く共有し、学校運営協議会としてできることを考える熟議を行った。今年度のアンケート結果からは、課題を共有する段階から一歩進み、本校の強みを生かしながら、学校・家庭・地域がそれぞれの役割を持ち寄り、具体的な行動へとつなげていく視点がより重要になっていることが読み取れる。

熱議テーマ（素案）

昨年度の熱議では、前半を「中学校にはどのような課題があるか」、後半を「学校運営協議会ではどんなことができるか」とし、学校・家庭・地域のそれぞれの立場から本校の課題を共有した上で、学校運営協議会として取り組めることについて意見交換を行った。

今年度のアンケートでは、昨年度から引き続き、生徒の明るさや挨拶、教職員の熱意、保護者・地域の協力的な姿勢などが本校の強みとして挙げられた。一方、生徒の主体性や判断力、学校の実像と外部に伝わる印象との隔たり、地域との交流機会や担い手の減少なども課題として示されている。

このことから、今年度は課題を改めて列挙するだけではなく、本校が既にもつ強みや地域資源を、実現可能な取組へどのようにつなげるかという視点から熱議を行うことが考えられる。以下に、アンケート結果を踏まえたテーマ案を示す。

案① 本校の強みを生かした学校づくり

前半「二中の良さや強みは何か。それをさらに伸ばすために必要なことは何か。」

後半「学校・家庭・地域が、それぞれの立場で踏み出せる一歩は何か。」

●アンケート結果を踏まえた視点

生徒の明るさや挨拶、教職員の熱意、協力的な保護者、地域による見守りなどは、教職員と委員等の双方から共通して評価されている。一方で、これらの強みを具体的な教育活動や地域との協働にどのようにつなげるかについては、十分に整理されていない。

●熱議のねらい

学校に不足しているものを探すだけでなく、既にある強みを確認し、その強みを生徒の成長や学校づくりに生かすための具体策を考える。学校、家庭、地域がそれぞれ無理なく取り組める内容を整理し、小さな実践につなげる。

案② 地域とともに子どもを育てる仕組みづくり

前半「地域には、子どもたちの成長に生かせる、どのような人材・活動・環境があるか。」

後半「地域の力を学校教育や生徒の活動に結びつけるために、学校運営協議会ができることは何か。」

● アンケート結果を踏まえた視点

地域による見守りや学校行事への協力、自然環境、鳴子や栽培活動、町内会活動などが地域の強みとして挙げられている。一方で、地域との交流機会の減少、自治会・町内会の担い手の高齢化、地域人材を教育活動へ生かす仕組みが十分でないことも課題として読み取れる。

● 熟議のねらい

新しい活動を一から立ち上げるのではなく、既存の地域行事や活動、人材を整理し、生徒の学びや体験、見守りに結びつける方法を考える。学校運営協議会のコーディネート機能を具体化し、持続可能な連携の形を探る。

案③ 二中学生の「居場所・出番・役割」を広げる

前半「生徒が学校や地域で力を発揮している場面と、十分に力を発揮できていない場面はどこか。」

後半「地域の活動や人材を生かし、生徒の居場所・出番・役割を一つ増やすために何ができるか。」

● アンケート結果を踏まえた視点

生徒の明るさ、挨拶、部活動や行事への取組が強みとして評価される一方、主体性や判断力、学習・生活面の二極化、放課後の過ごし方、一部生徒への個別支援などが課題として挙げられている。

● 熟議のねらい

生徒を支援される側としてだけでなく、地域の中で役割を担い、人から必要とされる存在として捉える。既存の行事、栽培活動、見守り、地域美化などへの参加を通して、生徒の主体性、自己肯定感、地域への所属感を育む方法を検討する。

案④ 主体的に考え、周囲に配慮して行動できる生徒の育成

前半「生徒が自ら考え、正しく判断し、周囲に配慮して行動するためには、どのような経験が必要か。」

後半「学校・家庭・地域が共通してできる声掛けや役割づくりは何か。」

● アンケート結果を踏まえた視点

教職員からは、生徒の主体性、思考力、判断力、規範意識、他者への配慮に関する課題が多く挙げられた。育てたい生徒像においても、自ら考えて判断し、周囲と協力しながら行動できる生徒が共通して求められている。

●熟議のねらい

新たな規則や禁止事項を増やすことを中心とせず、生徒が実際に判断し、責任をもって行動する経験を増やす方向から検討する。学校、家庭、地域で共通する声掛けや、生徒に任せられる役割など、日常の中で実践できる取組を考える。

案⑤ 二中の日常の良さを学校外へ伝える

前半「学校の中で感じている二中の良さ、学校外に伝わっている二中の印象には、どのような違いがあるか。」

後半「本校の実際の姿や生徒の活躍を、誰が、誰に、どのような方法で伝えていけるか。」

●アンケート結果を踏まえた視点

学校内部では、生徒の挨拶、明るさ、部活動への取組、教職員の熱意などが高く評価されている。一方で、学校の実際の姿とは異なる悪い噂や、「荒れている」といった印象が学校外に残っていることを懸念する回答も見られた。

●熟議のねらい

学校からの一方的な広報に限らず、生徒、保護者、地域、学校運営協議会がそれぞれの立場から、学校の日常や生徒の良さを伝える方法を考える。学校公開、地域行事、生徒による発信など、実施可能な取組につなげる。

案⑥ 新たな家庭・地域住民とのつながりを広げる

前半「学校や地域とのつながりをもちにくい家庭や住民に、どのような状況や背景があるか。」

後半「転入家庭や若い世代も参加しやすい学校・地域との接点を、どのようにつくるか。」

●アンケート結果を踏まえた視点

地域は学校に協力的であり、町内会等の活動も強みとして挙げられている。一方、転入者の増加による地縁の弱まり、地域交流の減少、自治会・町内会の高齢化や世代交代が課題として示されている。

●熟議のねらい

従来から学校を支えている人に負担が集中しないよう、新たな保護者や地域住民が短時間でも関わられる機会を考える。行事単位の協力、単発のボランティア、情報提供など、参加の入口を増やす方法を検討する。

テーマ選定に当たっての整理

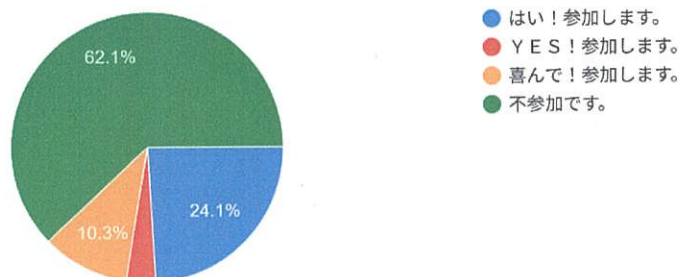
昨年度との連続性を重視しつつ、今年度は熟議を具体的な実践へ進めるのであれば、案①「本校の強みを生かした学校づくり」が最も幅広い回答を受け止めやすいテーマである。

学校運営協議会のコーディネート機能を具体化する観点では、案②「地域とともに子どもを育てる仕組みづくり」や、案③「二中学生の居場所・出番・役割を広げる」が、実現可能性の高い方向性と考えられる。

また、今年度の回答に見られた新たな特徴を明確に取り上げるのであれば、案⑤「二中の日常の良さを学校外へ伝える」も、昨年度とは異なる角度からの熟議テーマとなり得る。

設問 13 共通でお伺いします。

当日の熟議終了後、暑気払いを企画したいと思ってお...たら...という感じで気軽にご回答ください(^^)v
29 件の回答



以上

令和8年度 年間行事計画（家庭用） 2026

※変更になる可能性があります。毎月発行される学校だよりでご確認ください。

朝霞市立朝霞第二中学校 2026/7/15 現在

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	2026/7/15 現在
1	水	金 3年全学調(英語話すこと) 1年心臓検診	月	水 生徒総会	土 彩夏祭	火	1 木 3年修学旅行	日	火	金 元日	月 3年三者面談⑤カット	月 公立特色検査 1,2年学年末テスト	1	
2	木	土	火	木	日 彩夏祭	水 給食開始 避難訓練	2 金	月 合唱コンクール	水 各種委員会	土 年末年始休業日	火 新入生保護者説明会 3年三者面談⑤⑥カット	火 公立追検査 1,2年学年末テスト	2	
3	金	日 憲法記念日	水 進路学習会(3年)	金	月	木	3 土 新人戦①	火 文化の日	木 2年歯科指導	日 年末年始休業日	水	水	3	
4	土	月 みどりの日	木 耳鼻科検診	土	火 閉庁日	金 朝霞市スピーチコンテスト	4 日 新人戦(ハレー)	水 振替休業日	金	月	木	木	4	
5	日	火 こどもの日	金 通信陸上県大会	日	水 閉庁日	土	5 月 発育測定	木 後期時間割開始 各種委員会	土	火	金 3年⑤⑥カット	金 県立合格発表	5	
6	月	水 振替休日	土 通信陸上県大会	月 期末テスト	木 閉庁日	日	6 火 新人戦② 給食なし	金	日	水	土 書初め展	土	6	
7	火 準備登校(3年生)	木 各種委員会 2年県学調	日	火 期末テスト 非行防止教室	金 閉庁日	月	7 水 新人戦③ 給食あり 新人陸上県大会	土	月	木	日 書初め展	日	7	
8	水 始業式 入学式	金 3年県学調 PTA総会	月	水	土	火 2年脊柱側わん検診	8 木 新人戦④ 給食あり テスト7日前部活動なし 予備① 新人陸上県大会	日	火 生徒朝礼 3年三者面談⑤⑥カット	金 3学期始業式	月 3年⑤カット	月	8	
9	木 写真撮影(集合・個人) 小学校入学式	土	火 尿検査2次	木 各種委員会	日	水 開校記念日	9 金 予備②	月 3年三者面談⑤カット	水 3年三者面談⑤⑥カット 特支職業体験	土	火	火 卒業式予行	9	
10	金 全校集会 特支・2年発育測定	日	水 各種委員会 尿検査2次	金	月 閉庁日	木	10 土	火 生徒朝礼 3年三者面談⑤⑥カット	木 3年三者面談⑤⑥カット 特支職業体験	日	水 各種委員会	水 各種委員会	10	
11	土	月 1年県学調	木	土	火 山の日	金 ☖	11 日	水 3年三者面談⑤⑥カット	金 3年三者面談⑤⑥カット 特支職業体験	月 成人の日	木 建国記念の日	木 3時間授業・給食あり PM卒業式準備	11	
12	日	火 体育祭予行	金	日	水 閉庁日	土	12 月 スポーツの日	木 3年三者面談⑤⑥カット	土	火 3年第3回南部校長会テスト 給食開始	金 願書郵送日	金 卒業証書授与式 1年生臨時休業日	12	
13	月 1,3年発育測定 給食開始	水 体育祭予行予備	土	月	木 閉庁日	日	13 火 ☖	金 3時間授業 給食あり 3年三者面談	日	水 避難訓練 各種委員会	土	土	13	
14	火 生徒会オリエンテーション 仮入部開始	木 歯科健診	日	火	金 閉庁日	月 分掌部会・学年会	14 水 生徒会役員選挙	土 県民の日 駅伝県大会	月	木 2年音楽鑑賞会	日	日	14	
15	水 時間割による授業開始	金 体育祭前日準備	月	水 給食最終日 授業参観・保護者会	土	火 生徒朝礼	15 木 中間テスト	日	火	金	月	月	15	
16	木 各種委員会	土 体育祭	火	木 大掃除	日	水 各種委員会	16 金 1,2年技家テスト	月	水	土	火 生徒朝礼	火	16	
17	金 避難訓練	日	水	金 1学期終業式 ☖	月	木 新人戦壮行会	17 土	火 テスト7日前部活動なし	木	日	水 志願先変更	水	17	
18	土	月 体育祭予備①	木	土 県学総陸上	火	金 新人地区陸上	18 日	水	金	月	木 志願先変更	木	18	
19	日	火 振替休業日	金	日 県学総陸上	水	土 新人地区陸上予備日	19 月	木	土 定時退勤ウィーク (12/18～12/24) 土日の部活なし	火	金 3年学年末テスト なかよし発表会	金 1,2年・特支保護者会	19	
20	月 保護者会(15:30～)	水 4時間授業 ☖	土	月 海の日	木	日	20 火 進路学習会(3年) 水曜授業 校外バトロール	金 ☖	日	水 ☖ 1年職業体験	土	土 定期演奏会	20	
21	火 生徒朝礼 3年内科検診	木 体育祭予備②	日	火	金	月 敬老の日	21 水	土	月 1,2年・特支保護者会	木 1年職業体験	日	日 春分の日	21	
22	水 2年内科検診 3年全国学調(英・質)	金 地区通信陸上 テスト7日前部活動なし	月 学総壮行会	水	土	火 国民の休日	22 木 3年第2回南部校長会テスト	日	火 給食最終日	金 1年職業体験 私立入試集中日	月 ☖ テスト7日前部活動なし	月 振替休日	22	
23	木 3年全国学調(国・数) 1年内科検診	土 地区通信陸上	火 学総テニス	木	日	水 秋分の日	23 金 地区駅伝	月 勤労感謝の日	水 大掃除	土 私立入試集中日	火 天皇誕生日	火 給食最終日	23	
24	金 離任式 ☖	日	水 学総テニス	金	月	木	24 土	火 期末テスト	木 ☖ 2学期終業式	日 2年スキー林間学校	水	水 小学校卒業式	24	
25	土	月	木 学総① 学総テニス 学総陸上 給食なし	土	火	金	25 日	水 期末テスト	金	月 2年スキー林間学校	木 公立学力検査	木 大掃除 新入生1日入学	25	
26	日	火 生徒朝礼	金 学総② 学総陸上 給食なし	日	水	土	26 月	木	土	火 2年スキー林間学校 公立高校出願開始	金 公立面接	金 ☖ 修了式	26	
27	月 本入部 尿検査1次	水	土 学総③	月	木	日	27 火 地区駅伝予備日 生徒会認証式 学校公開週間(～31日)	金	日	水 2年生振替休業日	土 なかよし作品展	土 学年末休業日	27	
28	火 尿検査1次	木	日 学総(ハレー)	火	金 3年第1回南部校長会テスト	月	28 水 合唱コンクールリハーサル	土	月	木	日 なかよし作品展	日 学年末休業日	28	
29	水 昭和の日	金 中間テスト	月 学総④ 給食あり 予備① テスト7日前部活動なし	水	土	火 3年修学旅行	29 木	日	火 年末年始休業日	金		月 学年末休業日	29	
30	木 眼科検診 部活保護者会(15:10～)	土	火 予備② ☖	木	日	水 3年修学旅行	30 金	月	水 年末年始休業日	土 吹奏楽器楽フェスティバル リハ		火 学年末休業日	30	
31		日		金	月 2学期始業式		31 土 土曜参観 部活参観 薬物乱用防止教室		木 年末年始休業日	日 吹奏楽器楽フェスティバル		水 学年末休業日	31	

☖ふれあいデー

☖ふれあいデー